



令和8年度 秋田市立御所野学院中学校・高等学校 学校経営

◇秋田市中高一貫校設立構想

- 1 基本理念 伸びゆく秋田と共に学ぶ学校
- 2 建学の精神 国際的視野に立つ、新しい時代の郷土秋田を切り拓く人材の育成
- 3 教育目標 個性の伸長と愛郷心の高揚
- 4 目指す生徒像
 - ・志を高くもち、何事にも挑戦しようとする生徒
 - ・国際感覚を身に付け、主体的に学ぶ生徒
 - ・秋田の発展に夢を馳せ、郷土の歴史と文化を学ぶ生徒

◇経営基盤

- 1 連携型中高一貫教育校
 - ・地元の中学校としての御所野学院中学校と、御所野学院高校とが連携して教育を進める。
 - ・連携の柱は、中高連携教育プログラムと、中高合同活動。
 - ・御所野学院高校への入学は、御所野学院中学生の入学枠（約3割）と他の中学校からの入学枠がある。内進生には、高校教育活動の牽引役が期待されている。
- 2 秋田市中高連携特認校
 - ・中高一貫教育の趣旨に賛同する、秋田市内全域の児童生徒の入学者・転入者を受け入れる。

◇経営重点

- I 中高連携教育プログラムの推進
 - ・表現科：より広く様々な文化に触れるとともに、体験的な学びを通して、のびのびと自己表現できる生徒を育成する。
 - ・郷土学：郷土秋田をフィールドにした体験学習や発表会等を通して、郷土を愛し、郷土に生き、郷土に貢献しようとする心を養う。
- II 中高合同活動の推進

生徒の主体性を生かした活動を通して、高校生の姿が中学生にとって目標となるとともに、高校生のリーダー性や役割意識を高める。（体育祭、部活動、避難訓練）
- III グローバル人材の育成

国際教養大学と秋田県立大学との教育連携を通じ、英語力および論理的思考力を高めることにより、世界に開かれた地域社会を牽引するグローバル人材を育成する。



令和8年度 秋田市立御所野学院中学校 学校経営の重点

【教育目標】 個性の伸長と愛郷心の高揚

志を高くもち、何事にも挑戦しようとする生徒

【挑戦】

- ・学びやすさを支え、できることを伸ばそうとする特別支援教育の充実

国際感覚を身に付け、主体的に学ぶ生徒

【繋り】

- ・ICT等を活用した、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

秋田の発展に夢を馳せ、郷土の歴史と文化を学ぶ生徒

【夢】

- ・「郷土学」を核とした、志を育むキャリア教育の充実

◇R8 学校経営のグランドデザイン

＜課題＞ ◎新規不登校生徒少の増加。 ○特別な配慮を要する生徒の増加。

＜課題解決に向けて＞

※特別支援教育への理解を深め、「個性の伸長」を信じて支援する

- ・ベースは、生徒の「現状肯定」。
- ・できないことを、(指導の名のもと)できるようにすることにこだわりすぎない。
それより、できることを伸ばそうとする意識を忘れない。

※学習指導の意識から、学習向上支援へ

- ・目指すは、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実。
- ・ICTの有効活用は必須。(1対多には限界がある)

※生徒指導の意識から、生活向上支援の意識へ

- ・「なおす指導」から、「自己指導能力が高まる支援」へ。
- ・コーチング力を高め、気づける生徒を育成できる教師。

＜検証＞ 生徒の変容した姿